

第1 令和3年度（2021年度）当初予算



令和3年度（2021年度）当初予算は、「平成28年熊本地震」「新型コロナウイルス感染症」「令和2年7月豪雨」の3つの大きな課題への対応が求められる中、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え「新しいくまもと」を創造することを目指した予算を編成しています。

第 1 令和 3 年度（2021 年度）当初予算

（1）予算編成の基本的な考え方

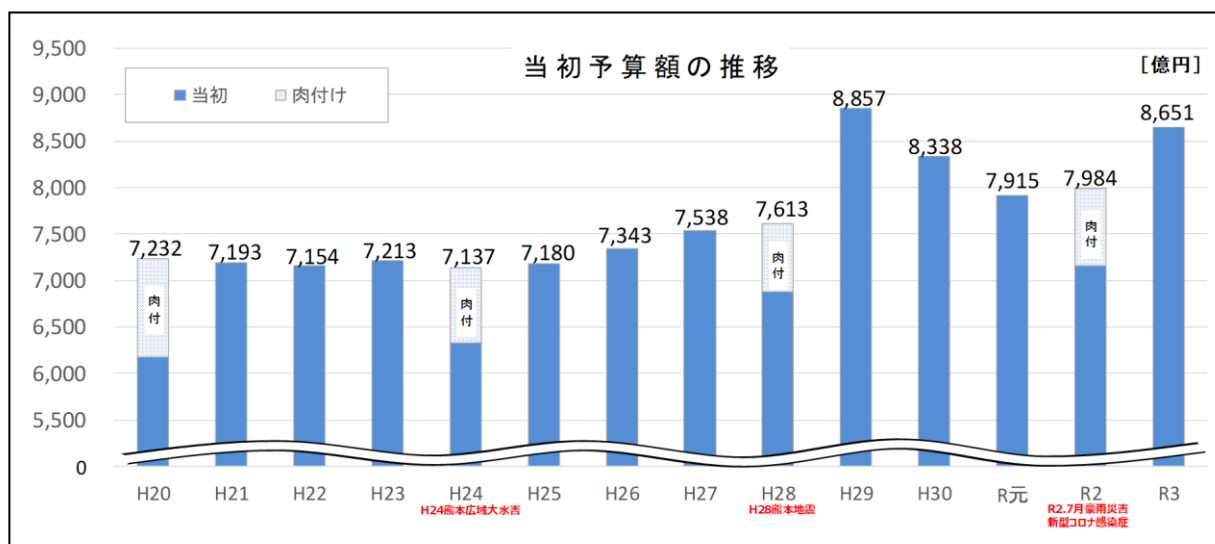
令和 3 年度当初予算は、「平成 28 年熊本地震」「新型コロナウイルス感染症」「令和 2 年 7 月豪雨」の 3 つの大きな課題への対応が求められる中、平成 28 年熊本地震と令和 2 年 7 月豪雨からの創造的復興を両輪に、新型コロナウイルス感染症による社会の変容を見据え「新しいくまもと」を創造することを目指した予算を編成しました。

（2）当初予算の規模

一般会計当初予算の規模 8,651 億円

当初予算の規模は、前年度比 667 億円の増（+8.4%）となりました。

これは、新型コロナウイルス感染症対応関連事業や令和 2 年 7 月豪雨関連事業の実施に伴う増が主な要因です。



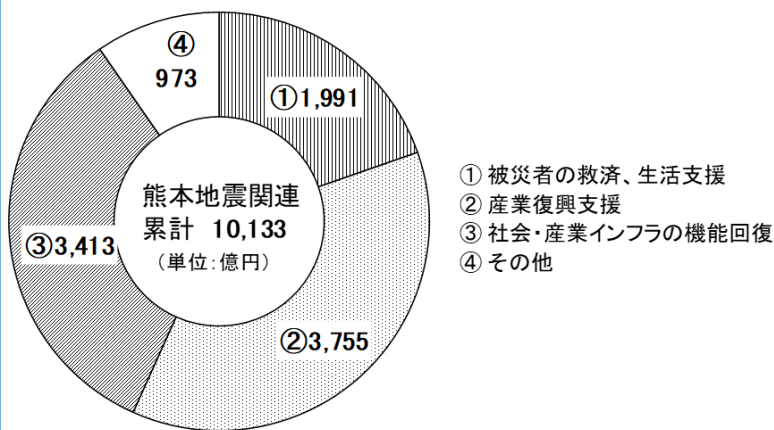
（3）当初予算の特色

- 1 令和 2 年 7 月豪雨からの創造的復興 587 億円**
被災者・被災地域の日も早い復旧・復興に向けた取組みや県内全域で取り組む災害に強い郷土づくりに必要な予算を計上。
- 2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応 816 億円**
感染症対策の体制強化や持続可能な社会・経済活動の実現に必要な予算を計上。
- 3 熊本地震からの創造的復興 333 億円**
被災者の暮らし・生活の再建や創造的復興の推進に必要な予算を計上。
- 4 将来に向けた地方創生の取組み 69 億円**
次世代を担う人材の育成や若者の地元定着、安全・安心な社会の実現等のために必要な予算を計上。

【平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨災害への対応（累計予算額）】

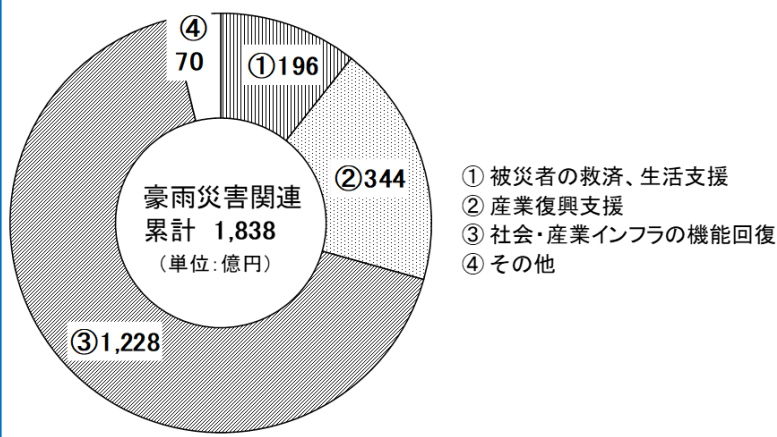
平成28年熊本地震への対応

- 平成28年度～令和3年度当初予算までの累計額は1兆133億円
- 県の実質的な負担割合は全体の6%程度



令和2年7月豪雨災害への対応

- 令和2年度7月補正～令和3年度当初予算までの累計額は1,838億円
- 県の実質的な負担割合は精査中



参考 特別会計予算の内容

県が特定の事業を行う場合、その経理を明確にするために、一般の歳入歳出と区分して、法令や条例により設置された会計を特別会計といいます。

本県では、中小企業振興資金特別会計をはじめ15の特別会計があり、その令和3年度（2021年度）当初予算額の合計は、3,165億76百万円となっています。

令和3年度（2021年度）特別会計の当初予算の詳細は、付表3（49ページ）のとおりです。